

## 台風第19号に伴う 防災情報 (第25報)

福島河川国道事務所では、台風第19号に伴う降雨の影響により、災害対策支部(非常体制)を設置し管内の警戒にあたっており、被災した箇所への復旧工事を鋭意進めております。

河川では、福島県須賀川市浜尾地内で発生した堤防の決壊について、決壊要因分析・復旧方法検討のための有識者からなる「阿武隈川上流調査委員会」を設置します。(※別添をご参照下さい。)

道路では、国道13号山形県米沢市万世町刈安地内において発生した法面崩落の関係について、同箇所の電柱撤去作業を行うため、10月16日(水)2時30分から6時まで全面通行止めを実施します。

また、相馬福島道路(相馬山上IC～霊山IC)は引き続き通行止めとなっております。引き続き、今後の防災情報にご注意下さい。

## 1. 事務所体制

## 【最新の体制】

支部:	10月10日	15時00分	注意体制
支部:	10月12日	14時09分	警戒体制
支部:	10月12日	16時30分	非常体制〔河川〕
支部:	10月12日	22時16分	非常体制〔道路〕
支部(砂防のみ):	10月14日	17時00分	注意体制〔砂防〕

## 2. 通行止め実施区間 10月15日 15時00分 現在

## ○ 国道13号

福島県福島市飯坂町中野地内(15.5kp) 中野第二トンネルから  
山形県米沢市八幡原地内(38.5kp) 八幡原交差点までの上下線  
令和元年10月16日(水)2:30~6:00(予定)  
(法面復旧工事に支障となる電柱の撤去のため)

※迂回路は東北中央自動車道です。

## ○ 東北中央自動車道相馬福島道路

相馬山上IC～霊山IC間(上下線)

令和元年10月12日20時45分から(予定日は10月16日を目途としております)

(ただし、緊急車両の通行は可能です。通行する際は福島河川国道事務所  
道路管理課まで連絡願います。)

## ○ 国道4号

福島県福島市平石地内

NEC前～伏拝交差点(264.0kp～266.0kp)上り線1車線規制

## 3. 洪水予報発令情報 (福島河川国道事務所・福島地方气象台 共同発表)

10月12日 22時00分	釈迦堂川	「はん濫危険情報」発表
10月12日 22時30分	荒川	「はん濫危険情報」発表
10月13日 0時10分	阿武隈川上流	「はん濫発生情報」発表
10月13日 2時50分	荒川流域	「はん濫注意情報」解除
10月14日 7時00分	釈迦堂川	「はん濫注意情報」解除

4. 被災情報 10月15日 9時00分 現在

- ・阿武隈川左岸4. 0k伊達市五十沢において、堤防の損傷を確認。  
14日15:00より復旧工事施工中。  
現在、復旧作業の支障物の撤去を行っております。(進捗率10%)
- ・阿武隈川左岸98. 6k須賀川市浜尾において、堤防の破堤及び樋門の被災を発見。  
被災状況: 堤防破堤L=50m、樋門1箇所(浜尾第二樋門)  
14日15:00より緊急復旧工事施工中。  
現在、復旧作業の支障物の撤去を行っております。(進捗率3%)

5. 現地情報連絡員(リエゾン)※1の派遣状況

派遣先	派遣人数	備考
福島市	2人	リエゾン出発(10月12日15:00) 現地着(16:05)
二本松市	1人	リエゾン出発(10月12日20:10) 現地着(20:45)
本宮市	1人	リエゾン出発(10月12日16:39) 現地着(17:06)
矢吹町他	1人	TEC-FORCE出発(10月14日12:30) 派遣先: 矢吹町、玉川村、鏡石町 帰還(10月14日21:20)

※1 リエゾンとは、災害対策現地情報連絡員のことをいい、リエゾンは大規模な災害が発生したときに「支援の窓口」として職員を派遣するものです。よりの確かつ迅速な災害対応支援を実施するためには、積極的な情報の収集及び提供が重要と考え東北地方整備局から各自治体災害対策本部に対して「現地情報連絡員」を派遣する制度を平成19年12月に創設されたものです。

6. 排水施設稼働状況 10月15日 15時00分 現在

管轄	施設名称	運転状況	備考
郡山出張所	排水ポンプ車 (自治体の排水支援)	13台派遣中	須賀川市、郡山市
伏黒出張所	排水ポンプ車 (自治体の排水支援)	作業終了	

8. 今後の見通し

・今後、新たな情報が入り次第お知らせします。今後の気象情報・道路情報にご注意下さい。

《事務所管内の情報は、右記のURLからご覧下さい》 <http://www.thr.mlit.go.jp/fukushima/>

< 記者発表会 : 福島建政記者クラブ、福島市政記者クラブ >

**お問い合わせ先**

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所  
TEL 024-546-4331 (代)

【広報担当官】	副 所 長	種市 優	内線(206)
【河川・砂防関係】	副 所 長	阿部 誠司	内線(204)
【河川関係】	調査第一課長	古賀 博久	内線(351)
【砂防関係】	建設専門官	石川 淳一	内線(408)
【道路関係】	副 所 長	本木 雅信	内線(205)
【道路関係】	道路管理課長	田中 隆紹	内線(431)

令和元年 10 月 15 日  
国土交通省 東北地方整備局

## 記者発表資料

決壊要因分析、復旧方法検討のための有識者からなる  
「阿武隈川上流堤防調査委員会※」を設置します。

国土交通省 東北地方整備局では、令和元年台風第19号による大雨の影響により、阿武隈川上流（福島県須賀川市浜尾）で発生した堤防の決壊に対して、被災原因分析を行い、再度の災害を防止するための堤防復旧工法等を検討することを目的とした「阿武隈川堤防調査委員会」（別紙1：委員名簿）を設置し、堤防の決壊箇所において、現地の状況を確認・把握するために現地調査を行います。

日 時：令和元年10月16日（水） 11：00～

※天候等により、予定が変わる可能性があります。

場 所：阿武隈川上流の堤防が決壊した箇所

取 材：現地調査への同行はご遠慮願います。

現地調査後に報道関係の皆様へ説明する時間を設けています。（別紙2参照）

※受付場所：福島県須賀川市浜尾地内

開始予定時刻：令和元年10月16日（水）11：45から

※ 堤防調査委員会：阿武隈川上流（福島県須賀川市浜尾）において発生した堤防決壊に対し、その原因を究明するとともに、復旧工法等に関して国土交通省東北地方整備局に対し専門的な指導・助言を行うことを目的として設置

## ＜発表記者会＞

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、  
福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ、郡山市記者クラブ、須賀川市記者クラブ

## 問合せ先

国土交通省 東北地方整備局

○出水全般に関する担当 TEL 022-225-2171（代表）

河川部 河川調査官 ながた ひとし 長田 仁（内線 3513）

○現地調査に関する担当 TEL 024-546-4331（代表）

福島河川国道事務所 技術副所長 あべ せいじ 阿部 誠司（内線 204）

## 別紙－ 1

## 阿武隈川上流堤防調査委員会 委員名簿

氏 名	所属・役職
風間 基樹	東北大学工学研究科 地盤工学研究室 教授
川越 清樹	福島大学大学院 共生システム理工学研究科 教授
佐々木 哲也	国立研究開発法人 土木研究所 地質・地盤研究グループ 土質・震動チーム 上席研究員
高橋 迪夫	日本大学 名誉教授
田中 仁	東北大学大学院工学研究科・工学部 土木工学専攻 教授
長林 久夫	日本大学 名誉教授
服部 敦	国土交通省 国土技術政策総合研究所 河川研究部 水防災システム研究官

敬称略、50音順

報道関係の皆様へ

## 調査委員会の現地調査における取材について



受付場所: 福島県須賀川市浜尾 地内  
開始予定時間: 令和元年10月16日(水) 11:45

